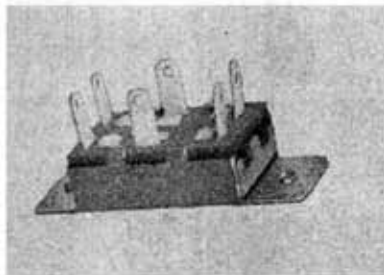


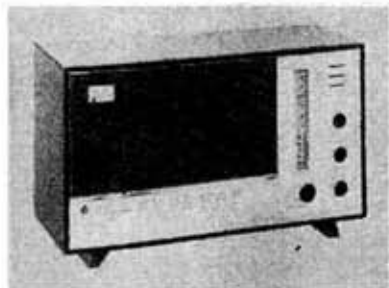
トーヨーのマジック・アイ

12ZE9はトランスレス用マジック・アイで、特性は前発売された12ZE8と同じであるが、本品は蛍光面の上下にボタンができるため、従来のものより同調がとりやすい。(世田谷区若林町75 東洋無線 KK)



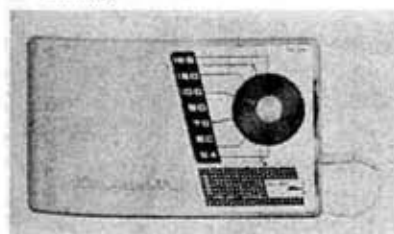
岡沢のスライド・スイッチ

特別設計のバネが使用されているため、接触は極めて良好。接点部分が使用してあるので接触抵抗が低く、長期間の使用にもたえられ、イヤホンの切替、短波チューナーのスイッチ等に便利である。定格125V 3A。(目黒区中根町266)



ナショナルのHi-Fiスーパー

UF-605 "ダニューブ" の規格はつぎの通り、使用真空管はBE6, 6BD6, 6AV6, 6AR5, 6X4, 6E5。感度60 μ V/150mW, SPは8 Ω パーマネント・ダイナミック、大きさ530 \times 323 \times 215mm。



オータのポータブル

PK-S5は調音時に同調のずれないリムドライブ式ツマミが採用してあり、イヤホンの抜き差しで自動的に電源の接断ができる。使用真空管1R5, 1T4, 1S5。使用A電池1.5V UM-2型、B電池45V BL-030L型、大きさ143 \times 86 \times 30mm。(大田区久ヶ原324)



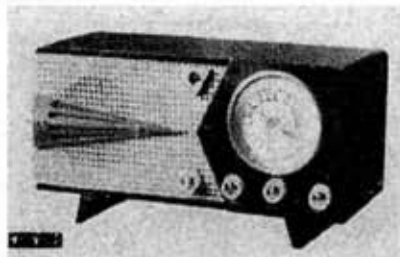
KSのプレイヤー

RL-30型は3スピード・ホーム・プレイヤーで、規格は次の通り、電圧90-110V、消費電力8W、数転数33 $\frac{1}{3}$ 、45,78。フオノ・モーターはリムドライブ型インダクション・モーター、ケース寸法250 \times 300 \times 85mm、PUはクリスタル・ロネット・タイプ、出力1000c/sでSP 1.0V LP 0.3V、針圧SP, LP共10g, 4000円。



ニートのメイン・アンプ

HM-Q5はコンビネーション用として設計されたもので、B回路にプリーダー回路をつけ、他のメーカーの単球程度のプリ・アンプから、スーパー、チューナーつきの高級品に至るまで安定に動作する。6AT6, 12AU7, 6BQ5 \times 2, 5AR4使用、出力12W、周波数特性30-20000c/s 1db以内、歪率出力12Wで100-6000c/s 1%以下、出力インピーダンス4, 8, 16 Ω 。



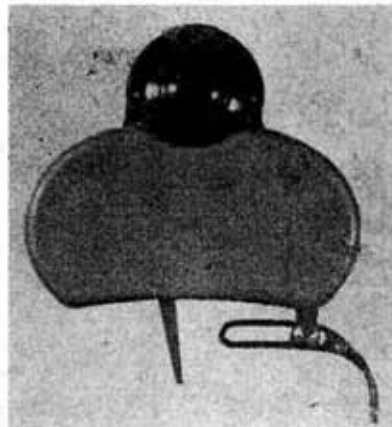
フィリップのキャビ・キット

写真は2バンド5球マジック・アイ付キャビ・キットで、木製キャビにサラシ・ネット、一部にプラスチックをあしらったもので、大きさは505 \times 210 \times 190mm、使用SPは6 $\frac{1}{2}$ Ω 。真空管はMT, GT, STのいずれでも組めるシャーシがついている。(足立区栗原町1160 安沢電機工業 KK)



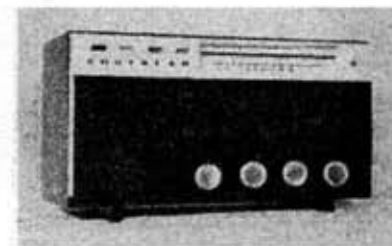
キングトーンのテレビ・オラ・テーブル

TT-4型はスピーカー・ボックス兼用回転テレビ・テーブルで、次のような特徴がある。1)卓上テレビがコンソール型となる。2)テレビ前面のスピーカーをつけ変えれば正面密閉型としてHi-Fi音で聞ける。3)360度回転式となっているので、SPとともにテレビの方向を自由にかえられる。また鋼鉄製の脚部は組立式なので、移動運搬にも便利である。5000円。



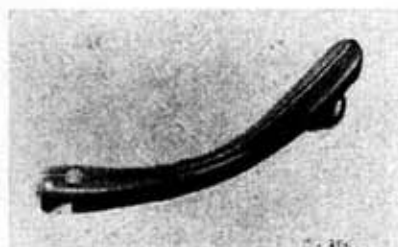
サン・オート・ストッパー

SL-4型は3スピードの各レコードの最終円溝に合うよう変換装置を附してある。演奏終了時にPUはストッパーの停止レバーに接触するが、ロー・スプリングのため、針先にはほとんど負荷がかからない程度で動作する。LP, EP, SPの最終円溝の位置は、演奏前にレコードの廻転リスタートレバーの変換装置を合わせればよい。



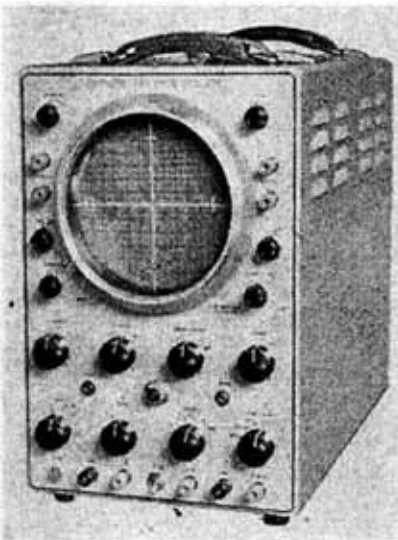
クライスラーのキャビ・キット

2BH-3はH-50と同型であるが、シャーシは高一つき2バンド(3.5-10MC)のいかなるコイル・バックおよびモノ・コイルの取付けも可能である。低周波はドライバーが一段追加できるので、ロー・ハイ・ブースト回路、NFB回路が使用できる。大きさ555 \times 310 \times 225mm。



アイワのクリスタルPU

C-366はターン・オーバー式、プラグイン・システムで、カートリッジ取付寸法はRAM規格に依っているため、他のカートリッジ取付可能。規格はつぎの通り。出力LP 0.5V, SP 0.8V, レスポンス 30~14000 c/s, トラッキング・エラー ±3°以内, 針圧LP 8g, SP 8~12g。(愛興電機産業KK 千代田区神田佐久間町4)



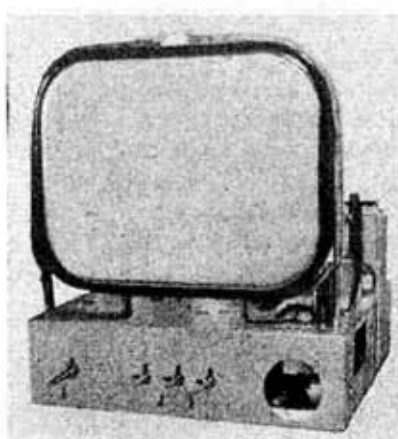
スター無線測器の5時標準オシロ

S-120S型は低域広帯域型5時オシロで、縦横増幅率は直流500kcを-3db, 1MCで-10db, 平衡直流増幅率水平は10c/s~200kcを-1db, 大きさ 33×40cm, 詳細は下記へ(京都市中京区二条島丸南 スター無線測器KK)



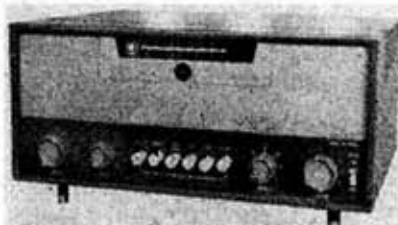
スギモトのノイズ・アレスター

蛍光灯, 電気カミソリ, ミキサー, 電気ドリル等を使用するとラジオやテレビに雑音が入るが, これらの雑音を阻止するために, 本品を障害波発生器の電源部に取付けておけば簡単に阻止できる。(東京都品川区小山3-14 杉本電器KK)



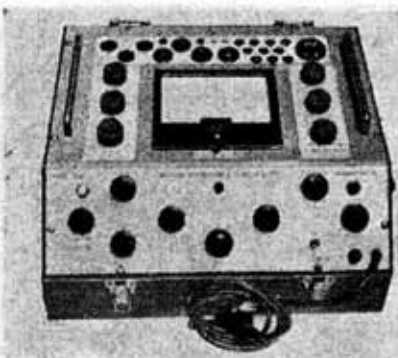
古電無線のTVキット

フルタカV型14時キットの規格はつぎの通り。映像IF2段ゲートド・ビーム検波, カスコード・チューナー使用, ブラウン管14HP4(日立)をふくみ16球, キット内容はアンテナ・フィーダーを除き, キャビ, ブラウン管配線材料一切完備。チューナー, 映像IF, 映像検波まで配線調整済み。38500円。(千代田区神田麻籠町3-10 古電無線KK)



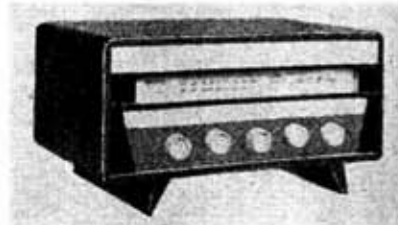
トリオの2バンド・トライ・アンプ

HF-82はプリ・アンプ, メイン・アンプ, チューナーを一まとめにしたトライ・アンプHF-8のラジオ・チューナー部に, 3.9~12 MCの短波帯を加えた2バンド・トライ・アンプで, 無音出力は13W, 完成品とオール・キットの2種類がある。



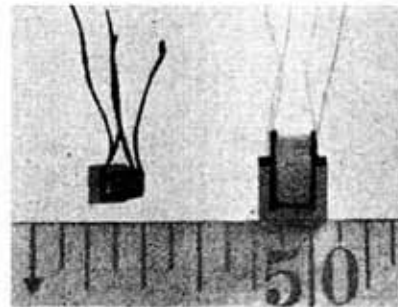
富士測の真空管試験器

VGH-3型は10kcの発振電圧を受信用真空管のグリッドF1に印加し, 各電極に規定電圧を与えてgmを直読できる測定器で, 特にテレビ用, レーダー用の特殊管, 鉱石, マジック・アイ等の測定も可能である。gm測定範囲 1, 5, 3, 6, 15m μ 。誤差 ±4%以内, 寸法480×400×250mm, 130,00000円(川崎市本月住吉町1890)



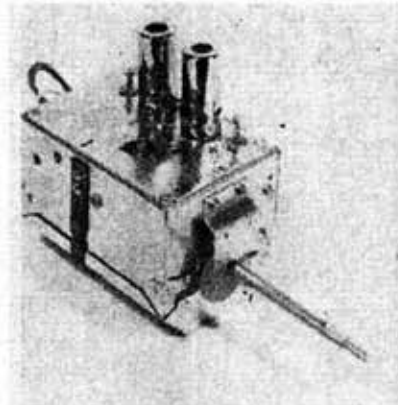
アトムHi-Fiアンプ

A-R50はラジオ・チューナー, プリ・アンプ, メイン・アンプが一つのケースに組込まれた6AR5PPの家庭用Hi-Fiアンプで, 使用真空管は6BE6, 6BD6, 1T22, 6AU6×2, 6AT6, 6AV6, 6AR5×2, 6X4, 6R5Mで, チューナー部に可変帯域型スーパー方式, 無音出力5W, 周波数特性30c/s~30Kc間-0.5db, 出力インピーダンス4, 8, 19 Ω 。(墨田区寺島町6-98)



アトムのトランジスタ用トランス

写真は超小型トランジスタ用トランスで, 鉄心は水素熱処理をほどこした, スーパー・パーマロイを使用している。また特殊絶縁材料による真空合浸を行ったうえ, 特殊被膜材料でコイルを保護してあるので耐湿性にとみ, 腐蝕の心配がない。種類はアウト・プット用2種, ドライバー用2種, イン・プット用4種である。ドライバー用AT-110は1次インピーダンス10k, 2次2k, 巻線比は2.24:1, インプット用AT-1は1次20k, 2次1k, 巻線比4.47:1, アウト・プット用AT-210は1次500 Ω , 2次3.2 Ω , 巻線比12.5:1(墨田区寺島町6-98 浅川電機産業KK)



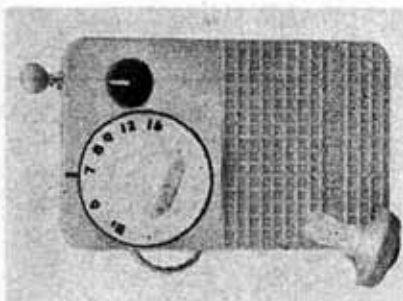
富士テレビのチューナー

写真はJFC6Aターレット・カスコード・チューナーである。高周波増幅段4BQ7, 発振管6JG, 周波数帯域1~6チャンネル, 映像27Mc, 音声22.5Mc, 利得31db。(文京区本郷4-29 富士テレビ工業KK)



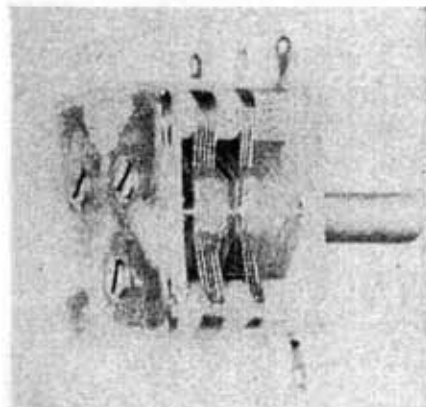
**さく良商事の
トランジスタ・ラジオ**

TGR-33型はゲルマニウム検波、高周波1段増幅、低周波2段増幅、トランジスタ3石使用の超小型トランジスタ・ラジオで、小型化無事故を計ってプリント配線を採用している。プラスチックのケースは100×70×30mm、で重さ245gr。電池4年44個で6ヶ月受信可能。8800円。(東京都文京区真砂町7 さく良商事KK)



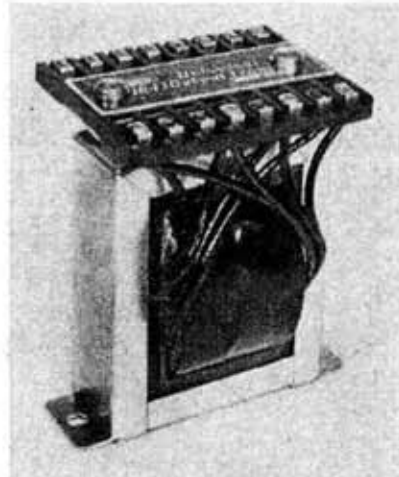
**トランジスタ・ラジオ
シャーシ・キット**

村山無線から写真のようなデザインのプラスチック製トランジスタ・ラジオ用シャーシ・キットが新発売された。大きさは150×30×65mmで、2-3石のラジオが組めるようになっており、製作者の好むの回路が使えるペーパークラフトになっている。280円。(横浜市神奈川区白旗町118 村山無線株式会社)



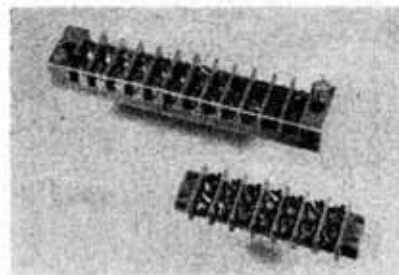
ミツミの3連ポリバリコン

ポリバリコンでおなじみの三菱電機KKから写真のようなポリ・バリコンが発売された。大きさは28×28×20mmという小型のもので、容量はANT 235 PF, RF 235 PF, OSC 111 PF, その他は先に発表したPVC-2Bと同様で、トリマー3個内蔵である。(品川区大崎本町2-446- 三菱電機株式会社)



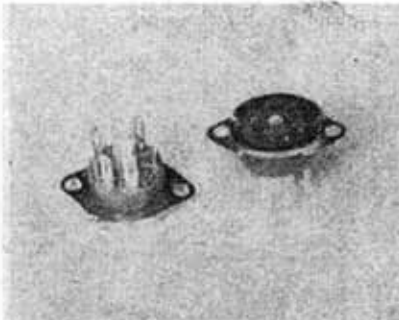
レックスのHi-Fiアウトブット

R-221はシングル用アウト・ブットで、周波数特性は50c/s-20Kcで、1db以内。1次インピーダンス2.5, 5, 7K。2次は4, 8, 16Ω。コアーはTの90使用。出力50c/sで5W。



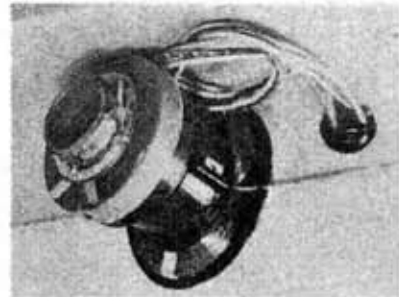
オータのハーモニカ端子

写真は今度オータ無線電器KKから発表された通信用高級端子で、ハーモニカ状をしており、各サイズごとに4P-12Pである。(大田区大森3-280 オータ無線電器KK)



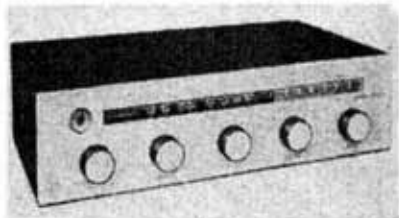
ミツミのソケット

写真はミツミ電機から“オートメーション・シリーズ”と銘打って、その第1号として発売された7ピンMT管用モールド型で、品質の均一化に成功し、多量の需要に応じうる。



QQQの偏向ヨーク

TV-313 C型は自己装着型90° 偏向ヨークでこれを使用すると90° B管の支持機構が楽になる。14Q-4Wに使用している。



山水のプリ・アンプ

PR-400型は数本のネジをとりははずしだけで、ケース・カバーの一部が前面パネルよりも約5mm小さくできるため、既製パネルやキャビネットを利用して埋込型としても使用できる。6BE6, 6BD6, 12AX7×2, 1T22使用。チューナー部は可変増幅、ゲルマニウム・ダイオード検波。PUはバリレラ、クリスタル共振。テープレコーダー・ヘッド、マイク接続可能。イコライザーはRIAA。周波数特性 20c/s-20000c/s±2db, 最大増幅度48db, 大きさは332×87×190mm, 詳細は下記へ。(渋谷区代々木上原町1315 山水電気KK)



クライスラーのサウンド・システム

SS-1はバスレフにHi-Fiの80ワターと3 1/2吋トワイターおよびネー・トワイターがついている完成品。クロスオーバー周波数は5000c/s, 最大入力8W。620×500×375mm。